

水分ストレスの簡易現場診断による九州産極早生温州の高糖度化技術の開発

九州産極早生温州の課題

低糖度みかん

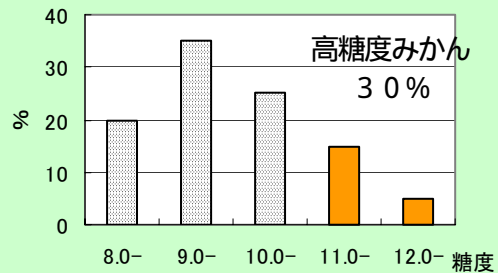
価格低迷・カンキツ
全体への悪影響



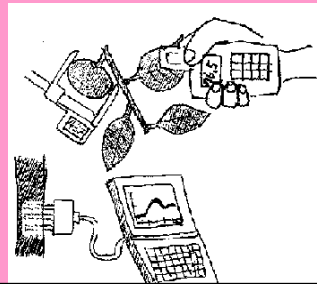
理由はマルチ効果のばらつき
しかし・・・

マルチ効果(樹体の水分ストレス)を確認する
方法がなく、適切な管理対策ができない

九州産極早生温州の出荷果実糖度 (H15)



水分ストレスの簡易現場診断技術の確立

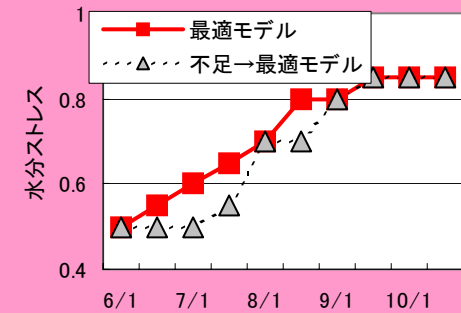


- ・新しい手法の開発(TDR法、グラニエ法)
- ・生態情報の利用(果実肥大、葉色等)

研究内容

糖度向上のための 最適水分ストレスモデルの作成

品種および土壌母材に対応した
最適水分ストレスモデルの作成



- ・ストレス不足樹の誘導技術
- ・水分制御技術
- ・主要産地条件に応じた栽培実証

簡易診断法と最適水分ストレスモデル
を利用した高糖度化の実証

期待される波及効果

- ・11度みかんの倍増
- ・農家所得向上と産地活性化

